

除去済み特例区域台帳

整理番号	条特 2022-2	区域番号	条特 - 3	所在地	名古屋市南区大同町4丁目1番35の一部	
調製・訂正年月日		令和4年9月1日				
除去済み特例区域の概況		更地			面積	55. 25㎡
除去済み特例 区域内の土壌 の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称
	R4. 7. 4	砒素及びその化合物		含有量基準・ 溶出量基準 ・第二溶出量基準		株式会社日本地下探査
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
土地の形質の 変更の実施状 況	届出（着手）時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壌搬出	管理汚染土壌の処理方法
	R4. 7. 5	R4. 8. 22	土壌汚染の除去（基準不適合土 壌の掘削による除去）	土地所有者	有 ・無	分別等処理
					有・無	
					有・無	
					有・無	

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A 4 とします。

除去済み特例区域内の土壌の汚染状態

- 1 除去済み特例区域の所在地
名古屋市南区大同町4丁目1番35の一部（詳細は4のとおり）
- 2 試料の採取を行った日
令和3年12月23日、令和4年4月4日
- 3 調査結果
表のとおり
- 4 除去済み特例区域及び試料採取位置図
図のとおり

表1 ガス調査 (A-5) 単位: volppm

分析の対象	分析結果	定量下限値
クロロエチレン	<	0.1
四塩化炭素	<	0.1
1,2-ジクロロエタン	<	0.1
1,1-ジクロロエチレン	<	0.1
1,2-ジクロロエチレン	<	0.1
1,3-ジクロロプロペン	<	0.1
ジクロロメタン	<	0.1
テトラクロロエチレン	<	0.1
1,1,1-トリクロロエタン	<	0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<	0.1
トリクロロエチレン	<	0.1
ベンゼン	<	0.05

※ 「<」は定量下限値未満を示す。

表2 表層調査 (A-2、A-5混合)

分析の対象	溶出量 (mg/L)			含有量 (mg/kg)		
	分析結果	定量下限値	基準	分析結果	定量下限値	基準
カドミウム及びその化合物	<	0.0003	0.003以下	1	1	45以下
六価クロム化合物	<	0.01	0.05以下	<	5	250以下
シアン化合物	<	0.1	検出されないこと	<	5	50以下
水銀及びその化合物	<	0.0005	0.0005以下	0.2	0.1	15以下
アルキル水銀	<	0.0005	検出されないこと			
セレン及びその化合物	0.002	0.002	0.01以下	<	1	150以下
鉛及びその化合物	0.008	0.005	0.01以下	62	10	150以下
砒素及びその化合物	0.014	0.005	0.01以下	<	5	150以下
ふっ素及びその化合物	0.7	0.1	0.8以下	46	40	4000以下
ほう素及びその化合物	<	0.1	1以下	<	10	4000以下
チウラム	<	0.0006	0.003以下			
シマジン	<	0.0003	0.006以下			
チオベンカルブ	<	0.002	0.02以下			
ポリ塩化ビフェニル	<	0.0005	検出されないこと			
有機りん化合物	<	0.1	検出されないこと			

※1 網掛けは基準不適合を示す。

※2 「<」は定量下限値未満を示す。

表3 表層調査 (個別分析)

分析の対象	A-2	A-5
砒素及びその化合物 土壌溶出量 (mg/L)	0.025	0.006
定量下限値	0.005	
基準	0.01以下	

※1 網掛けは基準不適合を示す。

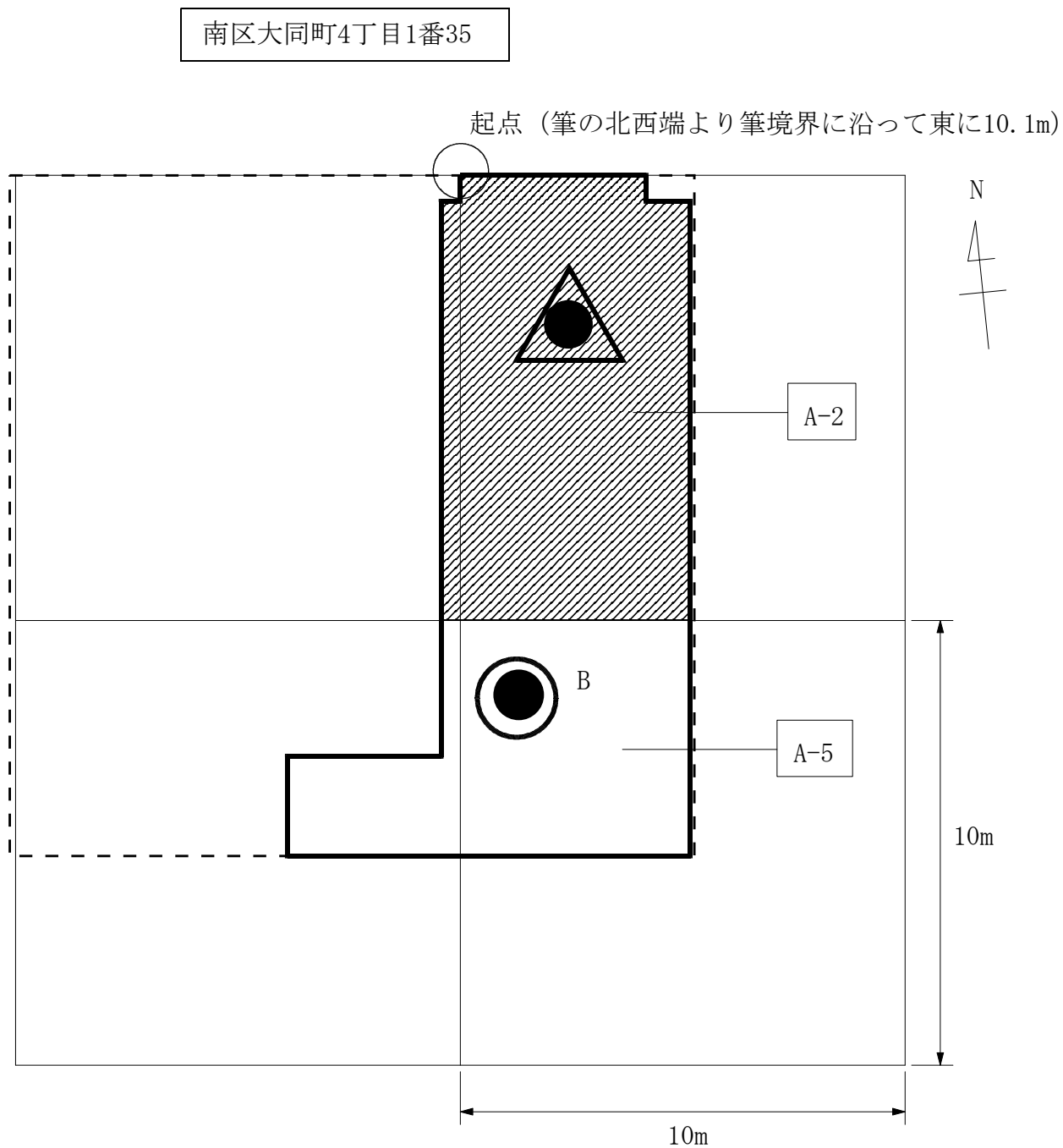
表4 個別分析 (深度)

A-2 分析の対象	砒素及びその化合物	
	土壌溶出量 (mg/L)	地下水 (mg/L)
表層	0.025	0.010
GL-0.6m	0.011	
GL-1.0m	<	
GL-1.5m	<	
GL-2.0m	<	0.005
定量下限値	0.005	
基準	0.01以下	

※1 網掛けは基準不適合を示す。

※2 「<」は定量下限値未満を示す。

図 除去済み特例区域及び試料採取位置図



凡例

- ┌ : 調査対象地 - - - : 筆の境界
- : ガス試料採取地点
- : 土壌試料採取地点
- △ : 地下水試料採取地点
- ▨ : 除去済み特例区域（砒素及びその化合物（土壌溶出量基準不適合））